

2021年10月7日

関係者 各位

東京都小学生バレーボール連盟

競技委員長 今泉 武志

審判委員長 及川 千春

東京新聞・東京中日スポーツ杯争奪
第42回 東京都小学生バレーボール選手権大会
競技・審判上の注意事項について

今大会でも、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、以下のように対応を考えました。各会場の大会責任者や審判責任者の判断や指示に従い、柔軟に対応をお願いします。

別途、競技上の注意事項も必ずお読みください。

マスクの使用について

- プレー中の選手は、マスクを外しても良い。外した場合、ネット際の発声は控える。
- 試合中、ベンチスタッフ・控えの選手は、マスクを着用する。チームの発声はチームスタッフの指示のみとし、他は拍手での応援とする。
- 審判員は、マスクを着用する。
ラインジャッジ・点示を行う児童も同様に、マスクを着用し、水分を持参しておくこと。

電子ホイッスルの使用について

飛沫感染防止のため、「電子ホイッスル」を使用します。

- 接続するコートでの使用の場合は、音色に注意するよう、トスの際、チームに伝えます。
- 両チームに聞こえるように、長めにホイッスルをします。
- プレーが止まらない場合は、再ホイッスル、ネットを揺らす等、工夫して、必ず止めます。
- ハンドシグナルを出す際は、何の判定を出しているか、チームにわかりやすいように出します。
左右の持ち替えが必要ならば、臨機応変に対応してください。
- 使用前後の電子ホイッスルは、必ず消毒をします。(記録席にあります。)

※電子ホイッスルの破損・電池切れ等、使用不可となった場合のため、ご自身のホイッスルを持参願います。

ます。

試合前後の握手

監督・選手・審判との握手は行わない。

試合前後のあいさつ

ネット付近に駆け寄らず、エンドラインに並んだ状態であいさつをする。

ト ス

必要最低限の会話に留め、握手は行わない。

タイムアウト

- 通常通り、30秒間とします。
- 選手同士が密にならないように、ベンチ前に広がっていても許容します。
- コートのモップがけはチームの判断とします。使用後には持ち手の消毒をしてください。

テクニカルタイムアウト

- 通常通り、30秒間とします。(1, 2セット目は11点。3セット目は、8点。)

インターバル(セット間)

- 通常通り、3分とします。(前のセットのボールデッドから2分30秒でホイッスル)
各セット終了時(エンドラインに整列後)、選手を一旦ベンチに戻します。
選手とベンチスタッフは、各チームでベンチの消毒を行い、各自の荷物を持ち、副審の合図で、コートチェンジをします。
- 選手同士が密にならないように、ベンチ前に広がっていても許容します。
- コートのモップがけはチームの判断としますが、使用後には持ち手の消毒をしてください。

その他

- ① うちわ
 - ・タイムアウト・テクニカルタイムアウト・セット間のみ使用を認める。
- ② ボールペン
 - ・使用者がそれぞれのボールペンを使用してください。各チームでの準備をお願いします。
記録席で貸した場合は、必ず消毒をしてください。
- ③ ラインジャッジ用フラッグ
 - ・各チームで持参をお願いします。
- ④ ボール
 - ・使い捨ての手袋とペーパータオルを使用して、消毒をします。
(消毒の担当者やタイミングは、各会場のミーティングで必ず確認をしてください。)

⑤ 得点板

- ・ 多数の人が触れるので、使用前後は消毒を行います。

⑥ チームベンチ（消毒の準備は、各チームでお願いしています。）

- ・ ベンチは椅子を3つのみ。控えの選手は間隔を空けて待機します。

今大会では、ウォームアップエリアを設けません。ベンチの横から間隔を空けて待機します。

控えの選手が、ベンチの延長線から前に出ないよう、主審・副審は、コントロールをします。

⑦ 主審・副審・記録員は、審判台、記録席（机・椅子）の消毒を毎試合終了後、行ってください。

競技・審判運営に関して、何かお気づきのことがございましたら、大会前は、競技・審判各委員長に、お問い合わせください。大会当日は、当日の会場責任者の指示に従ってください。